



★ 日常の業務の参考にしてください。

## 校長室からNo.3 令和2年(2020)5月11日号 文責:Hikichi

- ・新型コロナウイルス感染防止への対応
- ・生活リズムの保持

国内		国外	
感染者数	死亡者数	感染者数	死亡者数
15, 547	557	3, 672, 238	254, 045

※2020.0508 現在(クルーズ船を除く)

### §1 臨時休校のさらなる延長 ～生活リズムを作る～

宮城県教育委員会は県立高校を5月31日まで臨時休業を延長し、週1日の登校日を設定することになりました。6月以降の学校再開は現時点では未定という事になります。

\*

「規則正しく生活」することのできる力＝自己管理能力が求められることには変わりはありませんが、休業期間が3か月となると、さすがに厳しいものがあります。様々な不安要素もありますが、**週に1日の「登校日」**が設定できることを救いとして前進しようと思います。感染防止の対策を各個人がしっかりと取り組み、蔓延することを阻止しなければなりません。

\*

アンケートの結果を見ると、**学習面では3割の生徒諸君は「計画的に」取り組んでいる**ようです。6割程度が「できている」、1割の生徒諸君が「できていない」という回答でした。**生活面では、「規則正しい生活ができている」が3割、「できていない」は7割弱**という結果です。「テレワーク」の大人も、ONとOFFのリズムがうまく取れない…ようですから、高校生がこれだけの期間に、家庭で生活リズムを維持することは難しいことも事実です。しかしながら、こうした現実には日本全国どこも同じです。何とか工夫して克服する以外に、解決策はないようです。

\*

ONとOFFを切り替えるために、部屋着ではなく制服に着替えるということも、一案

のようです。ついつい自宅にいるために「部屋着」で通ってしまう。そこを着替えて気持ちを切り替えることで「緊張感」を持たせる。なかなか手軽ないい方法かもしれません。

\*

タイマーを準備して学校の時間割と同じように「授業時間」「休み時間」を計ることもいいでしょう。仮に6月から学校が再開しても、すぐに「平常登校」になるわけではなさそうです。一定期間の家庭学習を覚悟しなければなりません。ぜひ、工夫をして自分に合った方法をこの期間に模索してください。

### §2 新しい生活スタイル ～これから生きるために～

新型コロナウイルスの世界的な蔓延が、私たちの「生活スタイル」を変えることになりそうです。

#### 【感染防止】

- ・人との間隔は、**できるだけ2メートル**(最低1 歩)空ける
- ・遊びに行くなら**屋内より屋外**を選ぶ
- ・会話をしている際は、可能な限り**真正面を避ける**
- ・外出時、屋内にいるときや会話をしているときは、**症状がなくてもマスク着用**
- ・家に帰ったらまず**手や顔を洗い**、できるだけ早く**着替え、シャワーを浴びる**
- ・手洗いは**30 秒程度**かけて**水と石鹸**で丁寧に

学校生活も同じようになると考えています。ただし、現実的にどのようなようになるかはこれからです。

学校の基本は**1クラスは40人**で考えられています。「三密」を避けるとすれば2クラス展開となるわけですが…施設設備も教員の数も現状のままです。大学のように「オンライン授業」ができればいいのですが…。乗り越えるハードルは高いようです。